

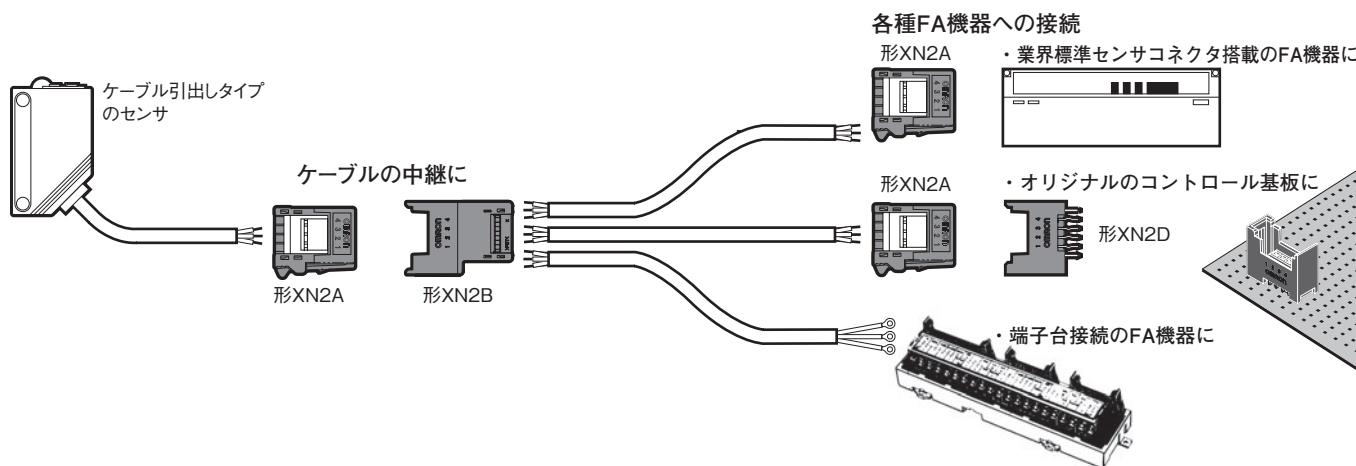
センサの接続に最適な e-CON*仕様準拠の簡単結線コネクタ

- 結線方式として、産業用で実績のある「スプリングクランプ方式」を採用
- 特殊工具不要で、簡単に結線ができます。
- 繰り返し結線（リペア）が可能です。
- AWG28 (0.08mm²)～AWG20 (0.5mm²) の電線範囲を1個のコネクタで対応可能。(被覆外径φ1.5以下)

*FA機器・コネクタメーカーが標準化を進めている仕様。
コネクタは、かん合の仕様に限りオープンしています。

RoHS適合

■配線構成の例



■種類 (○印の機種は標準在庫機種です。無印(受注生産機種)の納期についてはお取引先会社にお問い合わせください。)

種類	ケーブル接続用プラグコネクタ		ケーブル接続用ソケットコネクタ		基板用ソケットコネクタ(1連タイプ)		基板用ソケットコネクタ(4連タイプ)			
	形状		形状		形状		形状			
極数	形式	最小梱包単位(個)	形式	最小梱包単位(個)	形式	最小梱包単位(個)	形式	最小梱包単位(個)		
	3	○形XN2A-1370 153	— —	○形XN2D-1371 153	— —	4	○形XN2A-1470 144	○形XN2B-1470 90	○形XN2D-1471 135	形XN2D-4471 54
5	○形XN2A-1570 126	— —	○形XN2D-1571 117	— —	6	○形XN2A-1670 108	— —	○形XN2D-1671 108	— —	
8	○形XN2A-1870 90	— —	○形XN2D-1871 90	— —						

■定格／性能

定格電流	3A/極 (AWG20電線使用時) 2A/極 (AWG22電線使用時) 1A/極 (AWG24電線使用時) 0.5A/極 (AWG26、28電線使用時)
定格電圧	DC32V
接触抵抗	30mΩ以下 (DC20mV以下、100mA以下にて)
絶縁抵抗	10 ³ MΩ以上 (DC500Vにて)
耐電圧	AC1,000V 60秒 (リーク電流1mA以下)
挿抜回数	50回
使用温度範囲	-30～+75℃ *1
適用電線	0.08mm ² (AWG28)～0.5mm ² (AWG20) ただし、電線被覆外径がφ1.5以下であること *2

*1. 使用温度範囲は、ケーブルの使用最高温度で制約されます。

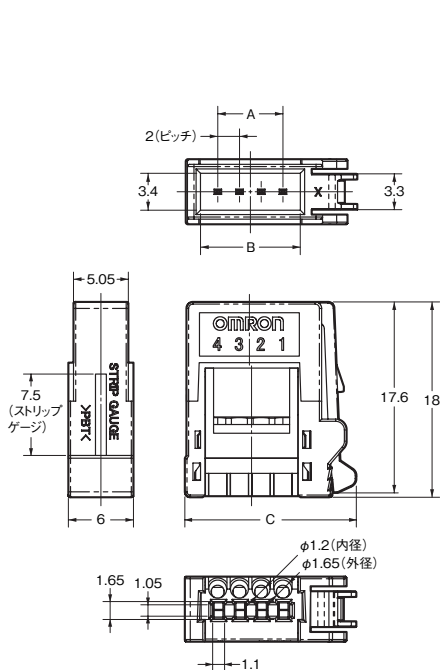
*2. 素線径がφ0.16以下の電線をご使用の場合は、当社営業担当までお問い合わせください。

■材質／処理

項目	分類	ケーブルタイプ	基板タイプ
ボディ		PBT樹脂 (UL94V-0) 黒	
カバー		PBT樹脂 (UL94V-0) 黒	—
ベース		PC樹脂 (UL94V-0) 透明	—
レバー		PA樹脂 (UL94V-0) ナチュラル (白)	—
コンタクト		銅合金 接触部：ニッケル下地 金メッキ (0.2μm) 結線部：ニッケル下地 錫メッキ 端子部：ニッケル下地 錫メッキ	
バネ		ステンレス	—
止めピン		—	銅合金/ ニッケル下地 錫メッキ

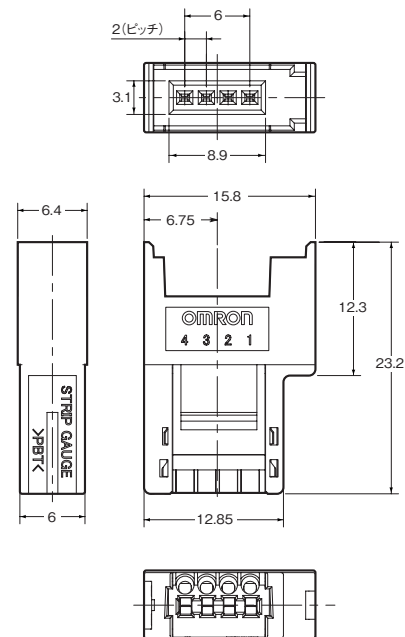
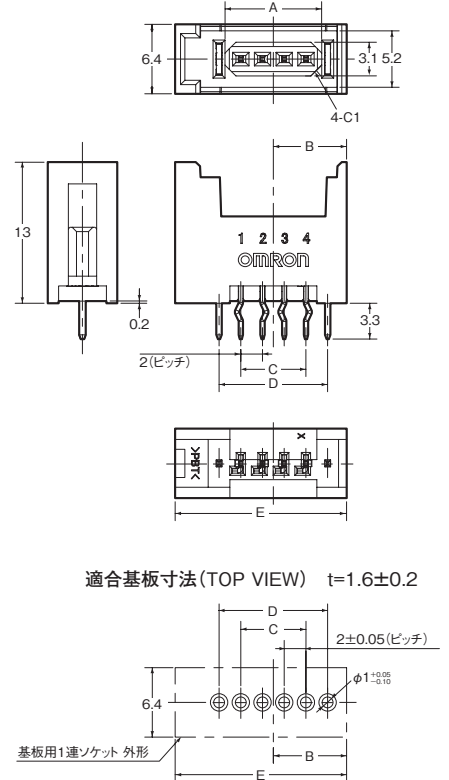
■外形寸法

(単位: mm)

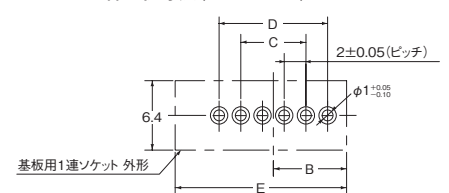
●ケーブル接続用プラグコネクタ
形XN2A-1□70

寸法表

寸法 (mm) 極数	A	B	C
3	4.0	7.2	13.8
4	6.0	9.2	15.8
5	8.0	11.2	17.8
6	10.0	13.2	19.8
8	14.0	17.2	23.8

●ケーブル接続用ソケットコネクタ
形XN2B-1470●基板用ソケットコネクタ (1連タイプ)
形XN2D-1□71

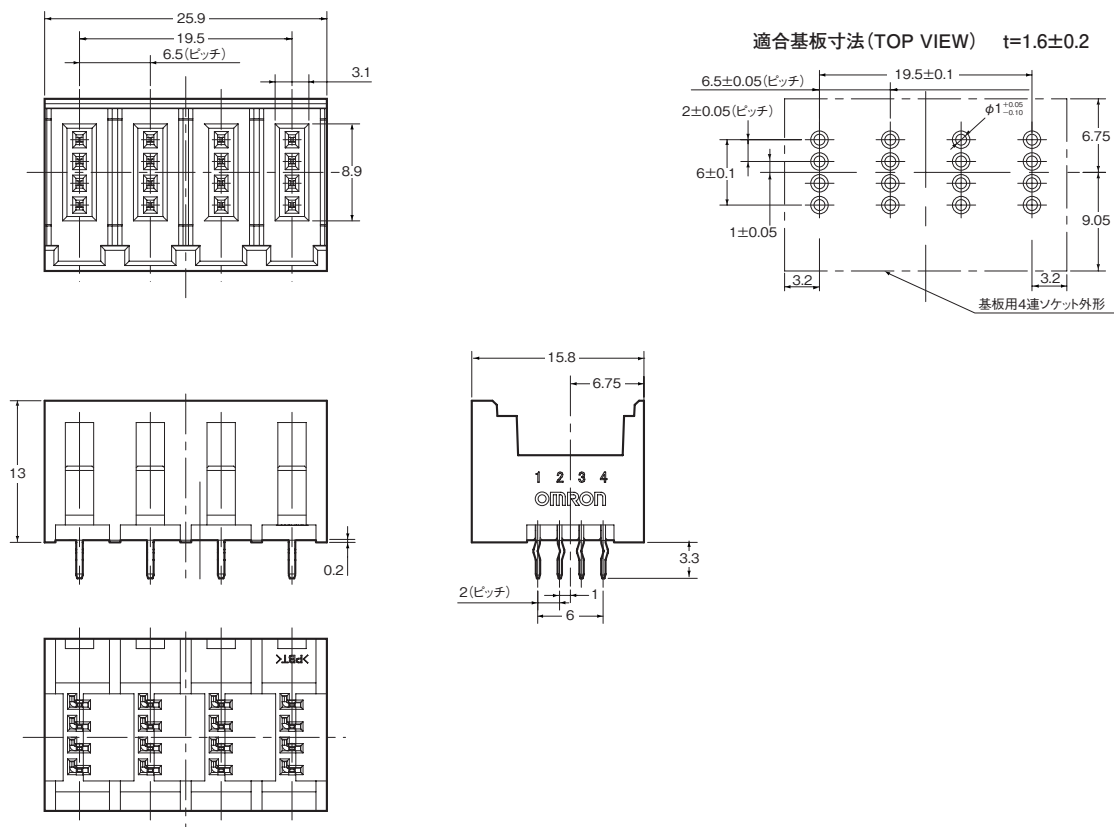
適合基板寸法 (TOP VIEW) t=1.6±0.2



寸法表

寸法 (mm) 極数	A	B	C	D	E
3	6.9	5.8	4.0	8.0	13.8
4	8.9	6.8	6.0	10.0	15.8
5	10.9	7.8	8.0	12.0	17.8
6	12.9	8.8	10.0	14.0	19.8
8	16.9	10.8	14.0	18.0	23.8

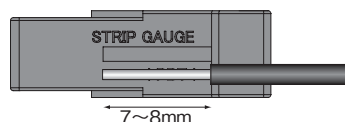
●基板用ソケットコネクタ(4連タイプ) 形XN2D-4471



■結線手順

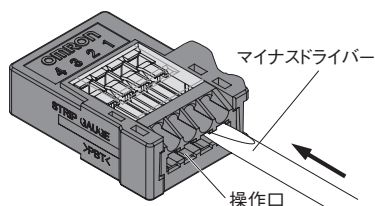
●電線の準備

本体側面に表示されている「STRIP GAUGE」に合わせ、電線の被覆を7～8mm剥き、撚り線は数回燃ってください。

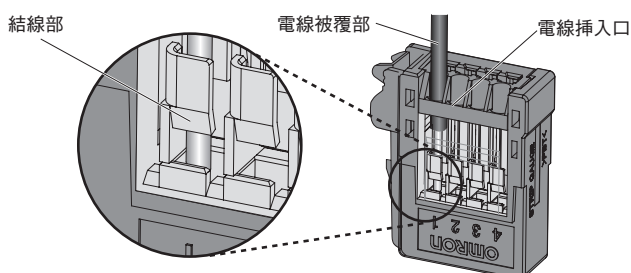


●接続手順

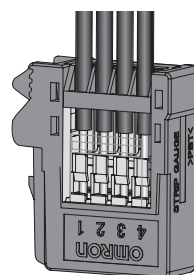
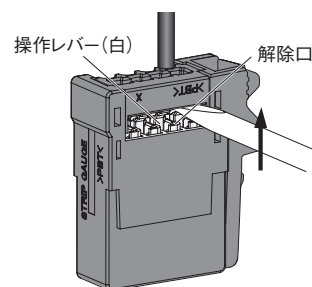
- ① マイナスドライバーを使って、操作口内にある操作レバーをロックするまで押し込みます。



- ② 電線挿入口に電線を奥まで挿入します。電線の被覆部が電線挿入口に入っていること、また導線部先端が結線部を通過していることを確認してください。



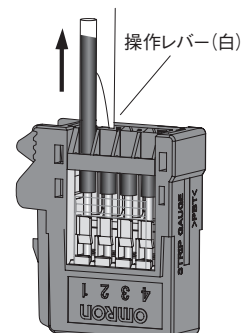
- ③ 解除口にマイナスドライバーを入れ、レバーを軽く引き戻します。「パチッ」という音がして操作レバーが復帰します。



- ④ 最後に以下のことについて確認してください。
・操作レバーが復帰していること
・再度②項を確認してください。
(電線を軽く引っ張り、抵抗があれば結線されています。)

●接続解除手順

- ① 操作レバーを押し込み、操作レバーがロックされていることを確認してから電線を引き抜いてください。
- ② 接続解除完了後は、かならず操作レバーを復帰させてください。ただし、引き続き結線作業を行う際には操作レバーを復帰させずそのまま、結線作業を行ってください。



■正しくお使いください

安全上の要点

- ・コネクタやケーブルを引張らないでください。コネクタの破損や断線の恐れがあります。
- ・ケーブルの断線やコネクタの破損を防ぐため、踏みつけることの無いような箇所に設置してください。そのような箇所へ設置する場合は、保護カバーを設置の上ご使用ください。
- ・逆向きに、嵌合させないでください。コネクタが破損します。
- ・ロックレバーの折れた状態では使用しないでください。コネクタが抜けたり、機械の誤動作の原因になります。
- ・基板側コネクタを設置する場合、方向性を確認の上、設置してください。
- ・ケーブル側コネクタをご使用の際、ケーブルを屈曲させて設置する場合は、ご使用になるケーブルの仕様をご確認ください。
- ・定格電流を超えてのご使用はしないでください。また、ケーブルごとに定格電流は異なりますのでご注意ください。
- ・プライヤーなど工具を使用しての、コネクタの引き抜きはしないでください。
- ・コネクタをしっかり持った上で、作業を行ってください。また、無理に力を入れて押し込まないでください。無理な作業は怪我につながりますのでご注意ください。
- ・本コネクタは防水構造ではありませんので、水や油が付着しないようにしてください。

使用上の注意

●配線作業について

- ・電線は1つの挿入口に対し、1本としてください。2本以上接続すると不具合の原因となります。
- ・電源を入れたままでの配線作業、コネクタの挿抜は行わないでください。感電の恐れがあります。
- ・ケーブルの配線時は、ご使用する機器の結線図に従って配線してください。
- ・ストリップについては取扱説明書に従って、素線を傷つけないように作業を行ってください。
- ・ドライバーを差し込むとき、指定より大きいドライバーはご使用にならないでください。
- ・はみ出した電線等で短絡がないことを確認してください。

●コネクタの挿抜について

- ・コネクタの挿抜は、コネクタ本体を持って行ってください。
- ・コネクタの嵌合時は、一番奥まで挿入し一度逆方向に引張り、抜けないことを確認してください。

●推奨ドライバーについて

- ・ドライバー（マイナスタイプ）で先端部の寸法が2mm以下のものを使用してください。
（ただし、先端から根元に向けて幅が広がる形状のドライバーは使用しないでください）
- ・上記以外のドライバーで操作しますと、となりの極まで操作してしまう可能性があります。